

2026年度 春学期・夏学期開講

# 科学技術政策特論

第16回講義

科学技術・イノベーション政策

-最近のピックスから-

文部科学省科学技術・学術政策局長

西條 正明 氏

## 西條先生からのメッセージ

急激に変化する世界情勢等を背景に、地政学的な課題、気候変動などのグローバル課題、AI など新興技術の急速な発達と影響への対応など、科学技術・イノベーション政策の果たす役割が益々重要となってきています。

今回は、このように重要性を増す科学技術・イノベーション政策について最新の動向を紹介するとともに、特に身近なピックスとして、①科学技術・イノベーション人材育成の強化（特に博士人材の育成）、②戦略的なグローバル化の推進（留学、国際頭脳循環）、③地域における大学の研究力強化（地域科学技術）の3つを取り上げ、それぞれについて現状と政府の施策を中心に紹介するとともに、これら取組みへの皆様の視点からのご意見を伺いたいと思います。

今後、未来の社会の担い手として、活躍が期待される多くの学生の皆さんの積極的な参加をお待ちしております。

日時： 7月31日(金)

5 講目 16:30-18:00

受講方法：

日本製鉄オープンホール」による対面講義

西條 正明 先生

平成5年 北海道大学大学院工学研究科修士課程修了。

平成5年 科学技術庁に入庁。

内閣府政策統括官(科学技術・イノベーション担当)付参事官(戦略イノベーション推進プログラム(SIP)担当))、文部科学省研究振興局参事官(ナノテクノロジー・物質・材料担当)、研究開発局原子力課長、科学技術・学術政策局産業連携・地域支援課長、高等教育局学生・留学生課長、大臣官房参事官(人事担当)、大臣官房総務課長、大臣官房審議官、官房長 を歴任。

令和7年7月より現職。

担当：工学系教育研究センター 小崎 完教授